

話せないだけで、心はこんなに豊か！
 認知症の母が書いた家族への思い、トミスケの詩」

きかせたや 見せたや 我が家の風景を

ミルクあめ 家族の心に 涙する

家族づれ 夫も喜ぶりんじがり

せんたくは バーの仕事に ありぬれど
 つつがなき おしこめを

おきたれば 大きな食パン すわりけり
 やさしき母ちゃん ありがとう 御免ね

あたたかき こころに ほとけ かんじやして…
 ほんとうに ありがとう

やさしいやさしい 家族のみなをこへ
 たよりなきばあですが

くれぐれもよろしくお願ひします

たのしさや 我が家によめの 笑い声

よき嫁や 息子までも よくなりぬ



やさしい母ちゃん いなくとも

おいしい夕食 ありがとう じいちゃんお母さん

おきたねど 何をやしいいやら手にひかず

又フットンもせむのこみました 御免なさい

正ちゃん じいめですが

もう少し 休んだら がんばります

がいさんやがいさんや

遠いお空のがいさんや

我が家の風景見えるのかな

見えるとも見えるとも

お前は一寸ドジダケド

とつちゃん かあちゃんやさしくして

それをまねてか孫までも

それをまねてか やさしくして

おいしいお料理を ほんとうにありがとう…なみだ

天国のぢいさんとも じいちゃんお母さん

ありがとうやらういわしつやらで 胸が一杯です

私もやさしい皆様とわえらわね

今年もがんばりますからよろしくおねがひ致します

夫の他界直後の三ヶ月間新聞広告の裏などに書き残されたもので、言葉では言えない家族への感謝の思いが伝わる。何も分からないと思っっているのは私達だけ…。

介護がラクくなる会 <https://happykaigo.jp>



YouTube でご覧いただけます。

